

【5】 授業科目、授業の方法内容、年間授業計画

(4) 大学院

社会文化総合研究科には心理学専攻と社会文化論専攻を設置しています。

心理学専攻には心理学コースを設け、保健・医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働などの分野の心理学を深く学びます。国家資格である公認心理師の必須科目を履修でき、高度な専門職の養成を行います。

心理学コース

心理支援の基礎	発達臨床心理学 教育心理学 青年心理学特論 教授・学習心理学 公認心理師特論
心理支援の展開	保健医療分野に関する理論と支援の展開 福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 言語発達論 情動発達論 教育心理学演習 教育相談・キャリア教育論
心理支援の実践	心理的アセスメントに関する理論と実践 心理支援に関する理論と実践 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 発達臨床支援論 学校カウンセリング 言語発達支援論 情動発達支援論 特別支援教育論
心理支援の実習	発達・教育臨床実習Ⅰ 発達・教育臨床実習Ⅱ 心理実践実習A 心理実践実習B
研究指導	心理学研究法

社会文化論専攻は、次の3つのコースを設けています。

現代社会文化論コースは、「弱者」として位置づけられた人々から現代の社会と文化の諸相を分析し、改革の方向を探る「弱者・マイノリティー論」、環境の問題を自然、人文、社会の視点から総合し考える「環境文化論」、多様な問題をもつユーラシアを見つめ問い直す「ユーラシア文化研究」の3科目群から構成されます。

発達・教育臨床論コースは、心理学と教育学を2本の柱とし、人間の発達を心理的に応援し、教育にかかわって発達を促す過程を「基礎」「展開」「実践」とステップアップを経て研究することで、専門的職業人・実践者の養成をめざします。

現代・経済ビジネスコースは、経済理論や政策、経営、マーケティング、金融、情報など幅広い領域を、

有機的に結びつけて研究し、深い専門知識と論理的思考力を修得し、国際感覚と実践力を備えた人材育成をめざします。

現代社会文化論コース

弱者・マイノリティー論	福祉社会論 福祉社会論演習 国際人権論 民族関係論 民族関係論演習 格差社会論 ジェンダー関係論 ジェンダー関係論演習
環境論	都市景観論 都市景観論演習 エコツーリズム論 環境運動論1 環境運動論2 生態文化論 生態文化論演習
ユーラシア研究	中国の社会と文化 南アジアの宗教と文化 南アジアの宗教と文化演習 中央ユーラシア遊牧社会の歴史と文化 東西文化交渉史 東西文化交渉史演習 印欧語族の神話の世界 印欧語族の神話の世界演習
研究指導	現代社会文化論研究法

発達・教育臨床論コース

発達・教育臨床の基礎	発達臨床心理学 教育心理学 青年心理学特論 教育経営論 教育実践史 生涯学習論 療育福祉特論 教育思想史特論
発達・教育臨床の展開	学校心理学特論 教育実践史演習 教育思想史演習
発達・教育臨床の実践	生涯学習実践論
研究指導	発達教育臨床研究法

現代経済・ビジネスコース

現代経済カリキュラム	社会政策特論 社会政策演習 財政学特論 財政学演習 国際経済特論 国際経済演習 経済学史特論 経済学史演習 環境経済学特論 環境経済学演習
現代ビジネス研究カリキュラム	経営管理特論 経営管理演習 マーケティング特論 マーケティング演習 情報・技術マネジメント特論 情報・技術マネジメント演習 アジアビジネス特論 アジアビジネス演習 経営情報システム特論 経営情報システム演習 国際協力実践特論 国際協力実践演習 簿記会計特論 簿記会計演習 経営学特論 経営学演習
研究指導	現代経済・ビジネス研究法